

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表 令和6年3月13日

事業所名 伊豆市児童発達支援センター

回収数 10名中9名 回収率 90%

A はい B どちらともいえない C いいえ D わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動のスペースが十分に確保されている	9				
	2 職員、専門職の配置は適切である	8		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく工夫がされている	9				
	4 センターの設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされている	8			1	
	5 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている	8	1			
適切な支援の提供	6 子どもと保護者のニーズが客観的に分析された上で、支援計画が作成されている	8	1			<ul style="list-style-type: none"> ・学校ごっこ（個別活動）は内容を固定せずいろいろなことにしてくれ、できることが増えた。 ・東こども園との交流が増えて刺激をもらった。行った時の様子を細かく教えてくれるのもありがたい。 ・個人のスキルをあげる支援は力をいれて行われていると思うが他の子供との交流が全くない。 いろいろな経験をしてほしい。
	7 支援計画は、発達支援、家族支援、地域支援等子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	8	1			
	8 支援計画にそった支援が行われている	8	1			
	9 活動内容が固定化しないよう工夫されている	6	3			
	10 修善寺東こども園との交流の機会がある	5	1	2	1	
	11 センター利用や利用者負担等について丁寧に説明がなされた	8		1		<ul style="list-style-type: none"> ・送り迎えの際にどんな様子だったか直接話が聞けるように

保護者への説明等	12	作成された支援計画を示しながら支援内容についての説明がなされた	8		1		<p>なあってうれしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団生活での場面、家庭での場面で子どもの様子に差があり、なかなか家庭での困りごとが伝わりにくい気がする。 ・ 悩みや困りごとがあると親身になって話を聞いてくれたりアドバイスをもらえたりした。 ・ ST OT 嘱託医心理士が来ているが何をどう助言されているのかが不明。次はこういうのをやってみたら？このこだわりはこうしてみたら？など教えてほしい。 ・ 玄関に写真付きで活動の様子が示され、わかりやすく、子どもの様子も見られてうれしい。
	13	保護者に対しての支援が行われている	7	2			
	14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている	7	1		1	
	15	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われている	8	1			
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備され、迅速かつ適切に対応されている	6	3			
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	7	2			
	18	活動概要や行事予定等の情報が適切に発信されている	7	2			
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されている	8	1			
非常時の対応	20	緊急時対応、防犯、感染症対応などのマニュアルを策定し、保護者に周知・説明がされている。また発生を想定した訓練を実施している	8	1			<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練が定期的にあるので、少しずつでも理解していると思う
	21	非常災害の発生に備えて、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	8	1			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	6	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・ おひさまに通い、できることが増えた。 ・ 「毎日おひさまがいい」と毎朝言っている。 ・ センター長に要望を伝えたので、今後改善されていくと思う。
	23	センターの支援に満足している	7	2			

*今年度1年間のお子様の様子で、変化を感じる場所はありますか？

- ・服の着脱が進み、靴下も用意したらはけるようになった。
- ・言葉の理解力が上がり、人への興味も注目度も増した。半面、「こう」と言う本人なりの考えがあり、そのあたりのこだわりも増した。
- ・できることが増えた。毎日やることの理解ができているのか、靴を自分で履いたりすることが増えてきた。
- ・「やってみよう」とチャレンジすることが増えてきた。
- ・「悔しい」などの感情がめばえた。
- ・最初の頃は嫌なことがあると泣いて隅に行ってしまうようだったが、今は自分の思い通りにいかないことがあっても泣いたり逃げたりせず、自分の中で切り替えて活動をおこなっているようだ。
- ・通所前はとにかく細かいことが気になり、すぐにかんしゃくを起こしたり怒ったりしていたが、自分で折り合いをつけることができるようになったり、切り替えも上手になった。楽しいことがあれば、こだわりも気にしなくなっている。野菜も食べるようになり、箸もいつの間には使えるようになった。集中して活動に取り組む姿も増え、ブロックやお絵かきなど得意が増えた。
- ・自分でできることが増え、園やおひさまでがんばっているんだなと感じる反面、家庭で怒りっぽかったり融通のきかなさに困ることが多くなったような気がしている
- ・給食の食べられるものが増えた。苦手なものをよけて食べられるようになった。
- ・訴えがとて強くなってきた。
- ・言っていることが伝わるのが、前よりも少し増えた。

<ご意見を踏まえた対応について>

お子さんの成長を御家庭と連携を持ちながら日々支援を行っています。職員研修も行い、保育、療育の質の向上にも努めています。

皆様からいただきました御意見を参考に、来年度の支援方針等を検討し、よりよい支援が行えるよう職員一同努力してまいります。